

中央大学国際寮の現状と 今後の取組について ～新たな取組のスタート～

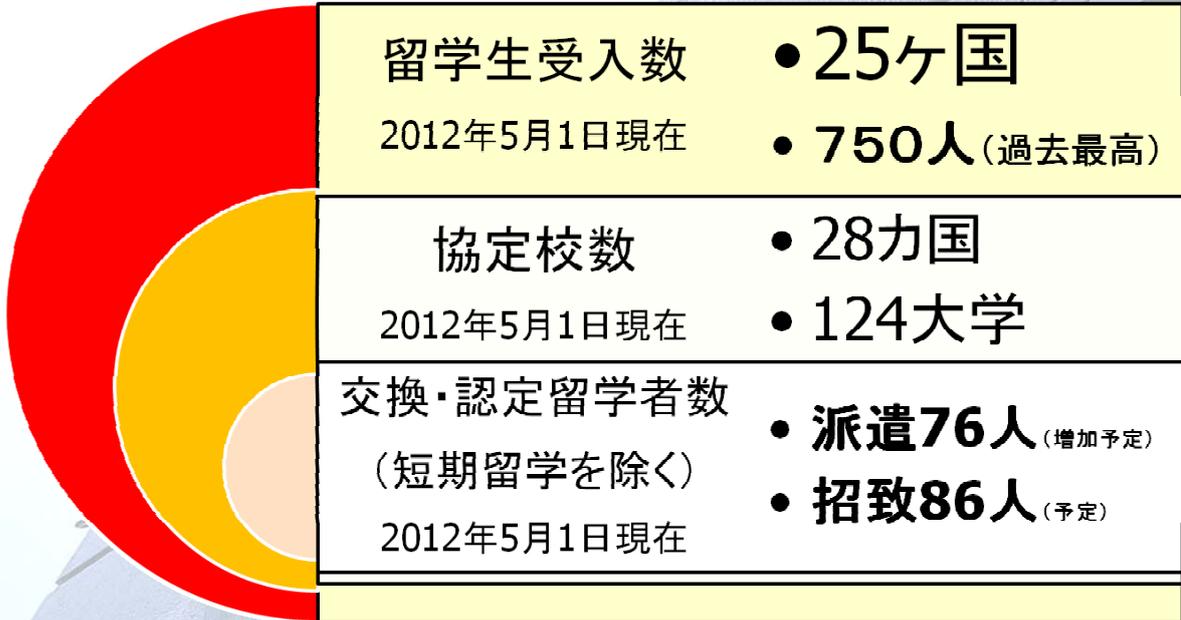
2012.6.11

独立行政法人日本学生支援機構の在り方に関する有識者検討会議 第2WG
事例発表：中央大学国際交流センター

本日の流れ

- 1 ● 国際寮の紹介
- 2 ● 国際寮のきっかけ
- 3 ● 寮の現状と課題
- 4 ● まとめ

中央大学の現状 ～受入・派遣留学生事情～



留学生手配宿舍の紹介 ～様々なタイプから効果を検証～

今回の事例

国際寮	国際交流寮	一般物件
<p>本学が一棟借りして 直接運営する物件 2011年3月開設 多摩平国際寮(64室) 【3人1ユニット・ルームシェア】 共用ラウンジで、各国の学生と日本人学生が食事を作ったり、語学教室を開いたり、PARTYを行ったりする、学生の自主性を重んじているスタイル</p>	<p>本学が一棟借りして 管理・運営を委託した物件 2012年4月開設 聖蹟桜ヶ丘寮(94室) 【ワンルームタイプ】 2階に共用ラウンジがあり、交換留学生と日本人学生が談話する事も可能。 一般的な留学生寮</p>	<p>本学が交換留学生向けに 大学近郊の部屋を手配。 後楽園キャンパス2012年4月～ 危機管理面から近隣に手配。常駐管理人がいないため、物件に関する初期対応は大学側。</p>

中央大学初の【国際寮】

～なぜこの形式を採用したのか～

分散型の住宅提供からの転換

前提：留学生向け手配宿舎の範囲

= 協定校【交換留学生】のみ

協定締結大学数の拡大により

- 大学近郊に6～70室を個々に契約
- 宿舎点在で宿舎マッチングが困難
- 国費・私費留学生は学生が【自己手配】

- 留学生増加に伴う宿舎業務負担増
- 物件の集中化を図りたい
- 常駐管理人による初期対応が必要

◆単に留学生【住居】提供でなく

◆日本人学生と留学生が共有し異文化体験可能な場所の提供

◆教育的効果を図りたい

◆留学先でも順応できるように、ルームシェア・タイプが妥当

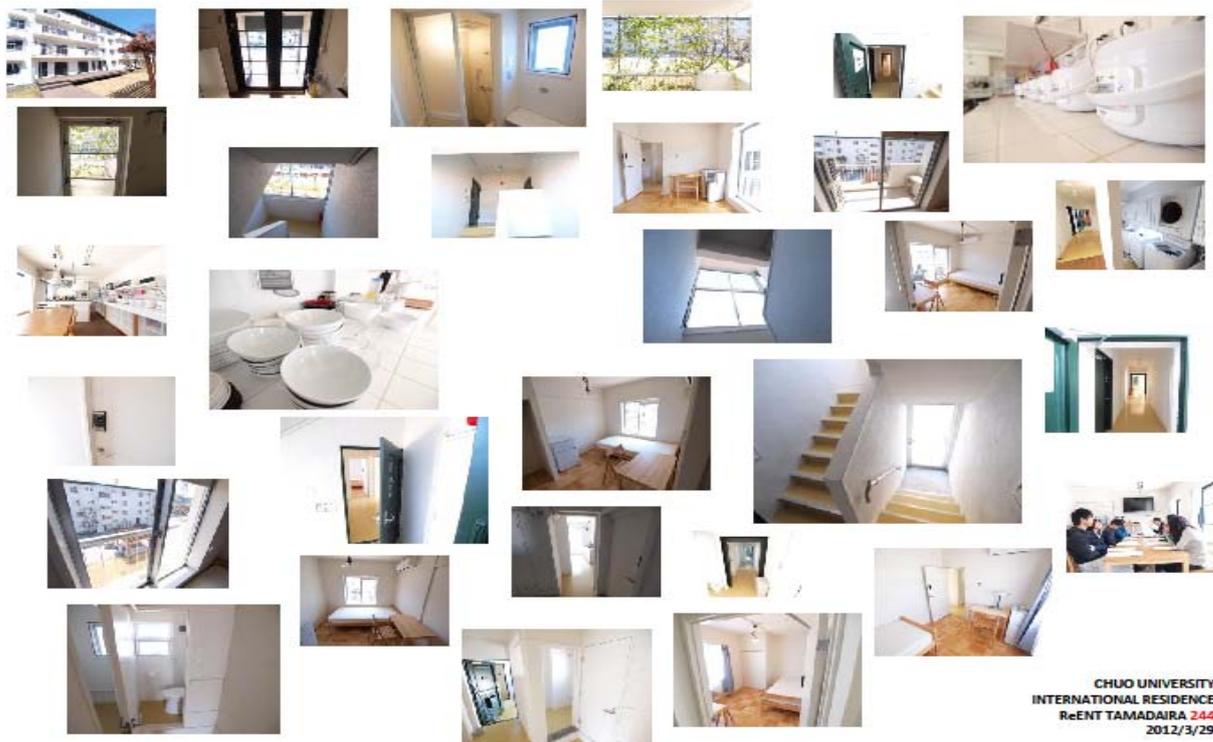
◆管理人の【常駐化】が必須

◆交換留学生・日本人学生・私費留学生が同居するスタイルに

◆但し、入居者の個室を用意

設計段階から意見交換

中央大学初の【国際寮】 りえんと多摩平244号棟



CHUO UNIVERSITY
INTERNATIONAL RESIDENCE
ReENT TAMADAIRA 244
2012/3/29

多摩平国際寮の基本情報

- 【名称】 りえんと多摩平の森 244号棟(中央大学国際寮)
- 【場所】 東京都日野市多摩平3丁目1-8
(JR中央線豊田駅徒歩8分=中央大学まで豊田駅から路線バスで約15分)
- 【構造】 鉄筋コンクリート造4階建(壁式構造)
- 【居室】 3Kのシェア方式(ミニキッチン・トイレ共用) 全64室
* 1階に2Kのタイプが2室。個人居室(エアコン・ベッド・机・イス・冷蔵庫)
- 【全体共有施設】 ラウンジ、キッチン、シャワールーム(浴槽なし)、
ランドリー(乾燥機あり)トイレ、駐輪場(無料)、下駄箱
- 【全体共有備品】 IHクッキングヒーター、炊飯器・レンジ等、テレビ、食器等
- 【家賃等】 60,000円(月額) 共益費・水光熱費・インターネット使用料含み
- 【保証金】 60,000円(日本人・私費留学生は退去クリーニング費用に充当)
- 【入居期間】 1学年間。入居者の希望により、本学が許可した場合は、さらに1年間を限度に入居期間延長可

交換留学生40,000円/月(差額家賃分は大学負担)

退去時クリーニング費、寝具レンタル料も大学負担



団地ということもあり、日照は確保、明るい



エントランスに中央大学の旗があるのみ



共用ラウンジには20名着席可能





団地の
面影あり



ユニット
入口は
シリンダー
キー



居室は
カードキー



備品を
完備

中央大学初の【国際寮】

1年目の取り組み

【試行錯誤】

- 1) 震災の影響→交換留学生の留学キャンセル
- 2) 寮の明渡し3月末→募集活動の出遅れ
→5月入居率(63%)
- 3) 9月・・・交換留学生受入回復&日本人の入居
→9月入居率(83%)
- 4) 私費留学生の退去・交換留学生からの相談
- 5) 1月・・・継続意思確認
→日本人57%、私費留学生35%程度

◎管理人とのかかわり

基本、発生時対応→電話での報告
退去の立会い、初期対応は管理人が対応
効果)→従来の対応に比べ業務量の改善

◎学生とのかかわり

基本、学生の自主性を重んじ、介入せず
管理人が2棟を管理。別棟に住居
→管理人の状況把握・学生への伝達の限界
→**RA制度の導入**の検討

◎地域・他の寮とのかかわり

→桜まつり、夏祭り、多摩平団地イベント、他棟との交流

多摩平国際寮における募集の流れ(2012年度)



入寮者データ

- ◆9カ国(地域) 53名/64室(2011年5月末現在)
- ◆入居率 82.8%(2012年度 max56室/87.5%)
- ◆留学生26名:中国(9)／アメリカ(4)／イギリス(4)／韓国(3)／フィリピン(2)／カナダ・シンガポール・台湾 各(1)
- ◆交換留学生18名・私費留学生8名／日本人27名
- ◆男女比:男性30名:女性23名
- ◆学年:1年生11名・2年生9名・3年生5名、4年生以上3名・大学院生6名・研究生1名(交換留学生はほぼ3年)

日本人と留学生との ルームシェアの**現況**

個々の部屋が確保された新しい形

日本人と留学生とのルームシェア ～各ユニットの入居組合せ方法～

部屋数: 22ユニット(全64室)

◆1ユニット・3人・・・20ユニット /60室

◆1ユニット・2人・・・ 2ユニット/ 4室

◆ユニットは同性、フロアでは男女混合もあり

前提: 学生は基本、部屋・階を選べない

(希望は考慮しない)

*** 交換留学生は宿舎の事前調査あり**

日本人と留学生とのルームシェア ～部屋割は一苦勞～

◎部屋割において意識をしていること(主に5点)

- 1) 20ユニットに、必ず【交換留学生】を配置(同条件の部屋)
- 2) 残りの2室に【日本人学生】と【私費留学生】を配置
- 3) ユニットには異なる国・地域を配置
- 4) 日本人学生・私費留学生は【応募書類】を見ながら、
同ユニットとなる交換留学生の国籍をできるだけ考慮
- 5) 私費留学生の応募が少ない場合は【日本人学生】を2名

日本人と留学生とのルームシェア ～部屋割の【狙い】～

- 1) 20ユニットに、必ず【交換留学生】を配置
(狙い) 主に1セメスターの学生を配置させることで、1年で2名の留学生と触れ合える機会を提供できる
- 2) 残りの2室に【日本人学生】と【私費留学生】を配置
(狙い) 学位を目指す者同士が目的を持った生活を目指す
- 3) 異なる国・地域を配置
(狙い) ユニット同士で日常生活の中から異文化理解を目指す
- 4) 日本人学生・私費留学生は【応募書類】を見ながら考慮
(狙い) 日常生活の中から異文化理解向上を目指す
- 5) 私費留学生の応募が少ない場合は【日本人学生】を2名
(狙い) 同学部・別学年により、先輩からアドバイスが受けられる

日本人と留学生とのルームシェア 入居した理由

- 将来、国際的な仕事に就きたい
- 【留学】を意識しているため、国の事情を聴きたい
- 【留学】に行けないかわりに、日常生活の中で異文化体験が期待できる
- 震災の影響で近くに人が多い方が【安心】 寂しくない
- いろんな【言語】が学べる
- 一緒に食事ができて、まるで【家族】みたい
- ルームシェアだけど、個室が担保されているから斬新
- 大学の「寮」だから【安心】
- 門限がないから自由
- 生活用品が揃っているため、購入するものがなくてよい

日本人と留学生とのルームシェア 入居後のクレームの数々

- 例: **グループ**が形成、なじめない。食事がゆっくりできない…。
- 例: 食器を洗わない、洗濯機(乾燥機)を使い放し…。
- 例: 共用冷蔵庫に保管していた自分の食事が食べられた…。
- 例: **夜遅くまで宴会**しているから。眠れない…。
- 例: ラウンジ全体がキムチのにおいがする。香辛料がきつい。
- 例: 夜が遅いのに、音楽を聴いたりしているから眠れない。
- 例: いつも部屋に他の寮生を呼んで遅くまで話している…。
- 例: **日本語を勉強**したいのに日本人は英会話を希望する。

学生の価値観の違いが出てくる

日本人と留学生とのルームシェア 中途退寮の理由

<主に私費留学生>

- 家賃が【高い】
- 日本に慣れたから【1人暮らし】したい
- ユニットメンバーと【生活スタイル】が合わない
- ラウンジがうるさく、勉強できない
- 大学から【遠い】・・・交通費がかかる
- 友人を宿泊させることができない

【違約金】設定をしていないため退去手続が容易

課題とその解決策

■RA(レジデンス・アシスタント)の必要性(2012年導入)

- 1)危機管理体制強化(震災や大学からの連絡の迅速化に対応)
- 2)日本人全員を留学生の生活サポーターに(応募条件に付与)
- 3)RA会議(管理会社も同席)の開催・・・3か月ペースで実施予定
大学－管理会社(管理人)－学生との関係性・情報共有の強化
RAメンバーは学生による推薦制(ボランティア・奨学金等なし)。

【寮内ルールの形成 = 自主性・判断力等強化】

新規入居者が随時、
自己紹介シートを記入
共用ラウンジにファイルを設置(共通の話題を
見つけるきっかけづくり)

CHUO UNIVERSITY INTERNATIONAL RESIDENCE
中央大学インターナショナルレジデンス
ReENT Yamadara Building No.244
中央大学国際寮(リエンと多摩平 244 号棟)

This sheet is made for all residents to get close one another.
入居者同士が仲良くなるために作成しました。

PROFILE

Room Number 部屋番号 _____ 号室 _____
Name 名前 _____

Birthday 誕生日 _____
From 出身 _____

Blood Type 血液型 _____ 型 _____
Constellation 星座 _____ 座 _____

Hobby 趣味 _____

Favorite Food 好きな食べ物 _____

Special interests (Sports・Place・・・etc)
好きなスポーツ・場所・などなど _____

Your message, if any(Appeal Point etc..) _____

外部からの関心度の高さ ルームシェアへの期待

<これまでの実績>

- 朝日新聞
- 朝日新聞「受験生向け雑誌」
- 東洋経済「大学の實力」
- 日本経済新聞
- 読売新聞
- NHK「おはよう日本」
- フジテレビ「スーパーニュース」

<メディア側の視点・5つの傾向>

- 団地のリノベーション
- ルームシェア (日本人と留学生)
- 受験生確保の一方策
- グローバル人材育成
- 大学の留学生受入れ政策



2年目の課題

【誰のため】の寮なのかを追求

■コンセプトの明確化

- 家賃が安いところへ移転する私費留学生の増加とその対策
- 交換留学生の住居環境へのこだわりへの対応
- 学内におけるハウジングセクションの確立
- 現在の寮における検証・分析

【量的】に対応できていない。

運営後1年経過しての【まとめ】

多摩平寮は【64室】であることから、学生との距離が近く、
大学側も管理人も、【顔】と【名前】が把握しやすい。

しかし、ルームシェアの相性は【運】もあり、

日本人と留学生の同居は日々、何か起きると考える。

【管理人】との相性も少なからず影響する。

三者間の相互連携が必須

**【中央大学】を選ぶ選択肢の一つとなるのが
【寮】である。**